

第2章

スタート画面と アプリの使い方

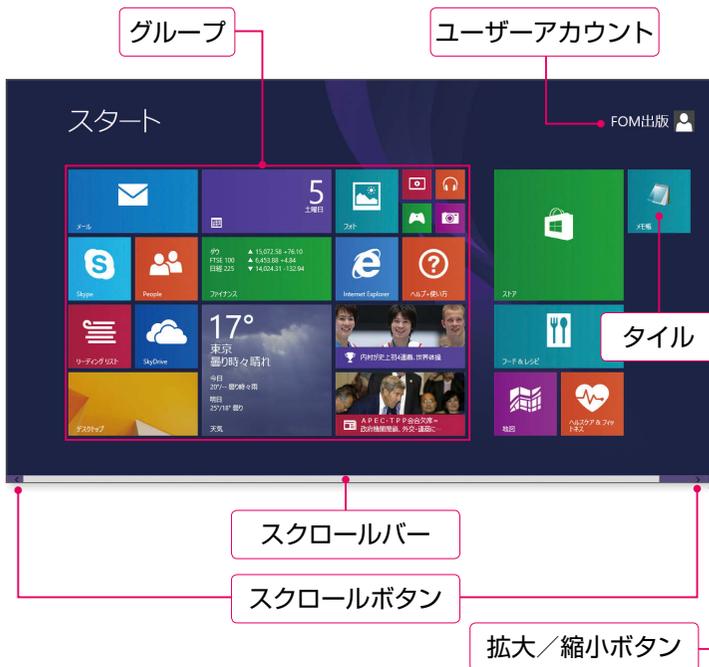
8. スタート画面の操作方法	38
9. スタート画面から移動する	40
10. デスクトップとチャームの操作方法	42
11. 旧スタートメニューの代わりになるものは?	44
12. アプリを起動・終了する	46
13. タイルを使いやすいように配置する	48
14. タスクバーからアプリを起動する	52
15. ショートカットからアプリを起動する	54
16. タスクバーから表示ウィンドウを切り替える	56
17. タスクバーを使いやすいようにカスタマイズする	58
18. ウィンドウを操作する	60
19. ウィンドウを最大化・最小化する	62
20. ウィンドウのサイズを変更する	64
21. ストアアプリを利用する	66
22. 表示するアプリを切り替える	68
23. 2つのストアアプリを同時に表示する	70
24. ストアアプリを追加する	72
25. 更新プログラムをインストールする	74
26. チャームからパソコンの設定を変更する	76
27. 操作できないアプリを強制終了させる	78
28. Windows の作業を一時中断する	80
29. 動作が不安定な Windows を再起動させる	82
30. Windows での作業を終了する	84

8

スタート画面の操作方法

パソコンの電源を入れて、サインインしたときに最初に表示されるのがスタート画面です。この画面ではタイルをクリックしてアプリを起動したり、デスクトップ画面に移動することができます。

スタート画面の見方



ライブタイル

アプリが取得した最新の情報を、タイルに表示する機能です。「天気」アプリであれば今日の天気、「ニュース」アプリであれば最新のニュースが表示されます。なお、ライブタイルはストアアプリ固有の機能です。



ユーザーアカウント

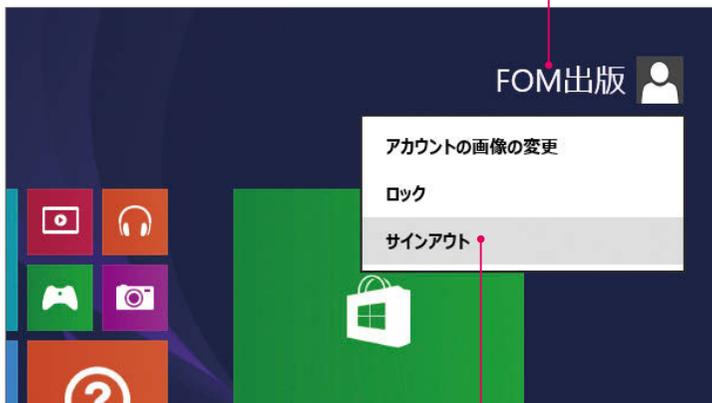
ユーザーアカウントには Windows 8.1 の初期設定時に登録したアカウント名が表示されます。この名前はあとから変更することができます。

名称	説明
タイル	Windows 8.1 で利用できるアプリや機能を表示したもの。クリックすることで起動できます。
グループ	タイルはグループごとに余白を空けて表示されます。タイルを種類ごとに分類するためのものです。
ユーザーアカウント	サインインに利用したアカウント名が表示されます。クリックするとアカウントの切り替えなどができます。
スクロールバー	タイルが1画面に表示しきれない場合に表示され、左右にドラッグすると画面の表示されていない部分を表示できます。
スクロールボタン	クリックすることで左右に画面をスクロールさせて、画面の表示されていない部分を表示できます。
拡大/縮小ボタン	タイルのサイズを縮小することで、1画面に表示されるタイル数を増やすことができます。

サインアウトする

1 サインアウト

① アカウント名をクリックする。



② 「サインアウト」をクリックする。

2 サインアウトする



サインアウト

サインアウトを実行すると、すべてのアプリを終了したうえで、ロック画面に移動します。このため、PCの状態をサインイン当初に戻して、いちから作業を始めたいときに利用されている機能です。なお、PCを再び利用するには、アカウント名とパスワードを入力して、サインインする必要があります。



アカウントの画像

スタート画面でアカウント名の横に表示されている画像です。ほかにも、この画像は「People」アプリなどで表示されます。アカウント名をクリックしたときに表示されるメニューで、「アカウントの画像の変更」をクリックすることで変更できます。

プラス 1

アドバイス

「ロック」機能を利用する

スタート画面でアカウント名をクリックしたあと、「ロック」を選択した場合にも、ロック画面に移動します。ただし、起動中のアプリは終了されないので、離席中に勝手にパソコンを触られたくないときに利用すると良いでしょう。



9

スタート画面から移動する

スタート画面からは、デスクトップと「アプリ」画面に移動できます。なお、ほかの画面からスタート画面に戻りたい場合には、画面左下に表示される「スタート」ボタンをクリックしてください。

デスクトップとの間を行き来する

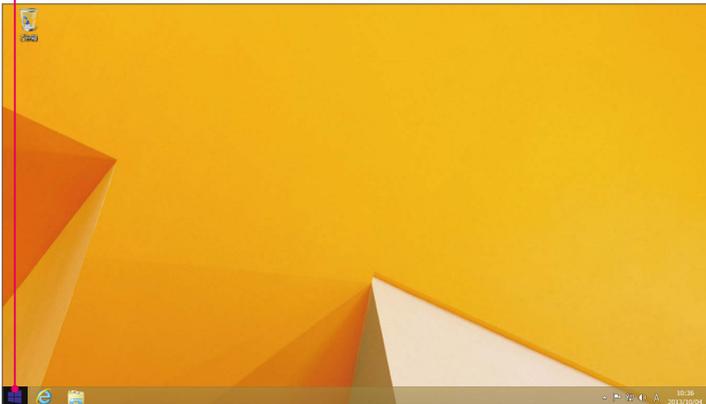
1 タイルをクリック

① 「デスクトップ」をクリックする。



2 デスクトップに移動する

① 「スタート」ボタンをクリックする。



「スタート」ボタン

スタート画面の左下隅をマウスでポイントすると、「スタート」ボタンが表示されます。これをクリックすることでも、デスクトップ画面に移動することが可能です。なお、スタート画面以外を表示している際は、ボタンをクリックするとスタート画面に移動します。



チャームからスタート画面へ移動

チャームに表示される「スタート」アイコンをクリックすることでも、スタート画面を表示できます。スタート画面を表示しているときにこのアイコンをクリックすると、デスクトップ画面に移動します。

3 スタート画面に移動する



i デスクトップの表示

スタート画面の左上をマウスでポイントすると、デスクトップのサムネイルが表示されます。このサムネイルをクリックすることでも、デスクトップを表示可能です。ただし、ストアアプリを起動している際は、表示がそのアプリに切り替わることもあります。詳細は P68 を参照してください。

「アプリ」画面を表示する

1 スタート画面を表示



↓ をクリックする。

「アプリ」画面

スタート画面には Windows で利用できるアプリの一部しか表示されません。スタート画面にないアプリや、あとからインストールしたアプリは、「アプリ」画面に表示され、タイルをクリックすることで起動できます。

2 「アプリ」画面が表示される



i 目当てのアプリが見つからない

「アプリ」画面では画面下のバーを左右にドラッグすることで、画面をスクロールさせることができます。起動したいアプリのタイルが見つからない場合には、スクロールして画面の続きを表示させてください。

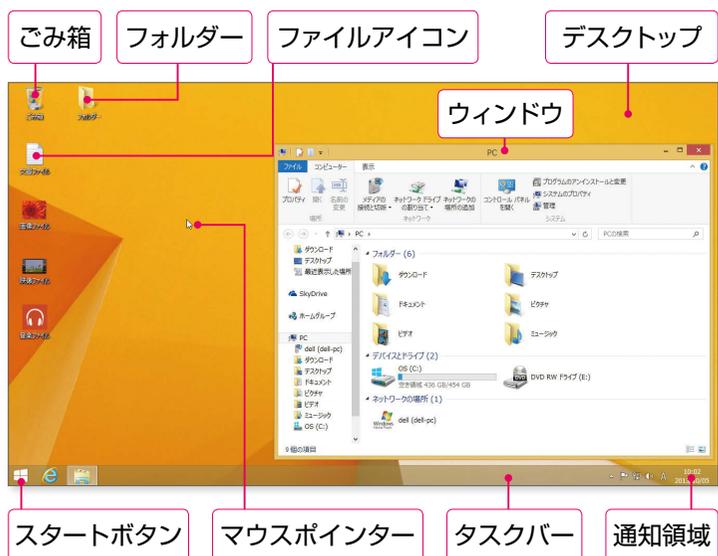


バーをドラッグすると、画面の続きが表示されます。

デスクトップとチャームの操作方法

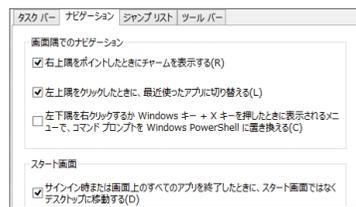
デスクトップはWindowsを操作するための作業領域です。ここにアプリを表示したり、ファイルのアイコンなどが配置できます。また、Windowsの重要な設定は「チャーム」で変更するので、表示方法を覚えておきましょう。

デスクトップの見方



i サインイン後にデスクトップを表示

サインインを行ったあとに、スタート画面ではなくデスクトップを表示させることができます。デスクトップのアイコンからファイルを開いたり、タスクバーのアイコンからアプリを起動するクセが付いている人は、こちらの方がスムーズに作業ができるでしょう。



タスクバーを右クリックして、「プロパティ」を選択。「ナビゲーション」タブを開き、「サインイン時または画面上の～」チェックをオンにします。

名称	説明
デスクトップ	デスクトップ上での作業を行うスペース。アイコンを配置したり、画面を表示します。
ウィンドウ	アプリやフォルダーを開いたときに表示される画面です。この中でアプリの操作やファイルの管理を行います。
ファイルアイコン	ひとつのファイルを図として表したものです。種類を表す絵とその名前がセットで表示されます。
フォルダーアイコン	ファイルの中に入れて整理するためのフォルダーを表すアイコンです。中にファイルを入れると図が変化します。
ごみ箱	いらなくなったファイルやフォルダーを捨てるための場所です。ここにアイコンをドラッグ操作で移動させると削除できます。
マウスポインター	マウスを上下左右に動かすと、それに合わせて画面上を移動。指し示している対象を、クリックやドラッグで操作できます。
スタートボタン	クリックするとWindows 7以前のようなメニューは表示せずに、即スタート画面に移動します。
タスクバー	起動しているアプリや開いているフォルダーがアイコンとして表示され、クリックすると最前面に表示するウィンドウを切り替えられます。
通知領域	Windowsの基本的な機能の動作状態を確認するための表示です。確認事項などのメッセージが表示されることもあります。

チャームの「設定」メニューを呼び出す

1 画面右上をポイント

① 画面の右上隅をマウスでポイントする。



② アイコンが5つ表示される。

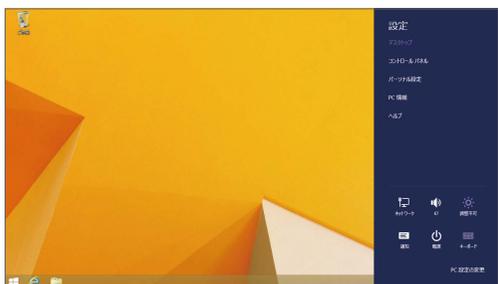
2 チャームが表示される

① マウスをそのまま下に移動させる。



② 「設定」をクリックする。

3 「設定」メニューが表示される



チャーム

画面右端へと黒い帯状に表示されるメニューが「チャーム」です。「検索」や「設定」など5つの機能呼び出すことができます。「スタート」をクリックすると、スタート画面に移動します。なお、このメニューはデスクトップ画面以外でも表示可能です。

i チャームの表示

「Windows」キーと「C」キーを同時押しすることでも、チャームを表示することができます。なお、タブレットでチャームを表示するには、画面の右端を左方向にスワイプします。

「設定」メニュー

音量やディスプレイの明るさの調整など、重要度の高い設定をアイコンから変更できます。アイコンの上に簡条書きに並んだメニューは、それぞれ表示中の画面についての設定項目です。現在表示している画面に合わせて、利用できるメニューが変化します。

i PC 設定

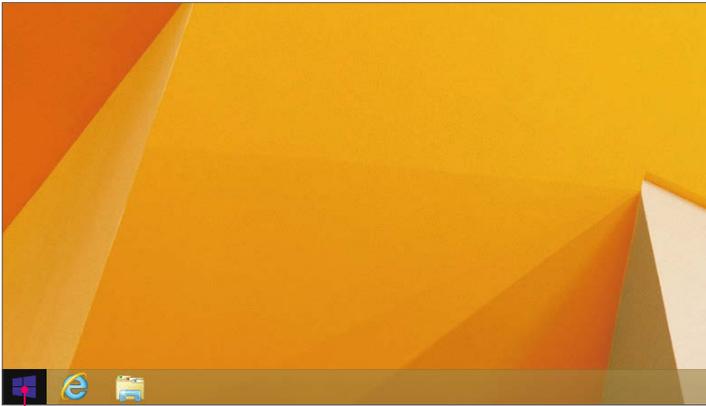
「設定」メニューの一番下には「PC設定の変更」という項目が表示されます。これをクリックすると、Windowsの様々な設定を変更するための画面が表示されます。詳細はP76を参照してください。

旧スタートメニューの代わりになるものは？

Windows 8.1では「スタート」ボタンをクリックしても、以前のWindowsのようなメニューは表示されません。ただ、ボタンの右クリックで、かつてのスタートメニューから呼び出していた機能のいくつかが利用できます。

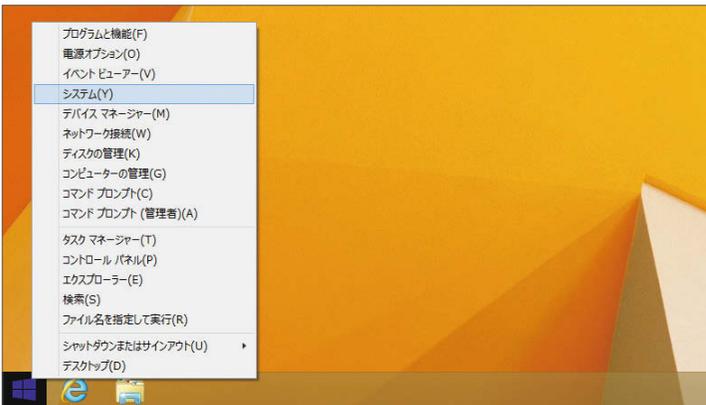
スタートボタンの右クリックメニューを表示する

1 「スタート」ボタンを右クリック



① 「スタート」ボタンを右クリックする。

2 メニューが表示される



i メニューの表示方法

「スタート」ボタンを右クリックすると表示されるメニューは、「スタート」キーと「X」キーを同時に押すことでも表示できます。

i 「コントロールパネル」の表示

「コントロールパネル」を表示するには、通常ならチャームの「設定」をクリックして、表示されるメニューから「コントロールパネル」をクリックします。しかし、これはデスクトップを表示中しか行えない操作なので、それ以外の画面を表示中には、「スタート」ボタンの右クリックメニューを利用してください。



ストアアプリの表示中に「設定」メニューを開いても、「コントロールパネル」という項目は表示されません。

右クリックメニューから呼び出せる主な機能

1 システム



「システム」画面

パソコンの基本情報をまとめた画面です。OSのバージョン、CPUやメモリーの性能、コンピューターやワークグループの名前などが確認できます。Windows 7以前では、「Windows 7: コンピューター」「Vista: コンピューター」「XP: コンピューター」または「マイコンピューター」の右クリックから表示していました。

2 コントロールパネル



コントロールパネル

Windowsに関する様々な設定を変更するための画面です。「PC 設定」では変更できないような、より細やかな設定をコントロールできます。

3 電源メニュー



電源メニュー

「サインアウト」「スリープ」「シャットダウン」「再起動」の4つの操作が行なえます。なお、チャームから電源操作を行う方法は、P80を参照してください。



パソコンの電源を切るときには「シャットダウン」を実行します。

12

アプリを起動・終了する

Windowsで何かの作業をするときに利用するのがアプリです。文章を作成するときは「メモ帳」を、お絵かきをするなら「ペイント」というように、作業に応じたアプリを起動してください。

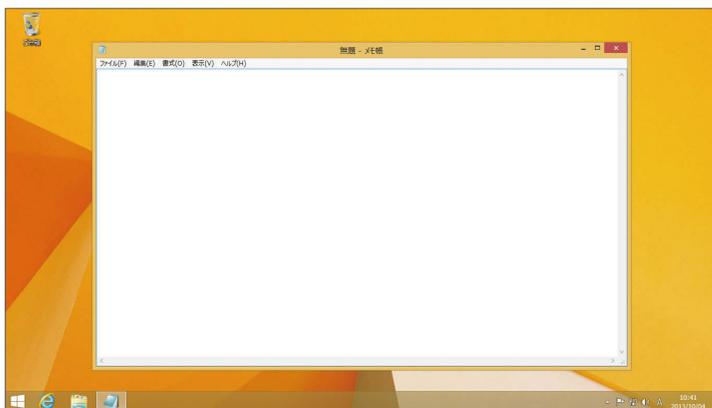
アプリを起動する

1 タイルをクリック

起動するアプリのタイルをクリックする。



2 アプリが起動する



「アプリ」画面の表示方法

「アプリ」画面を表示するには、スタート画面でをクリックします。詳しくはP41を参照してください。



デスクトップアプリ

「メモ帳」や「ペイント」など、Windows 7以前から利用されてきたアプリのことをデスクトップアプリと呼びます。Windows標準のデスクトップアプリのタイルは、「アプリ」画面の「Windows アクセサリ」に用意されています。



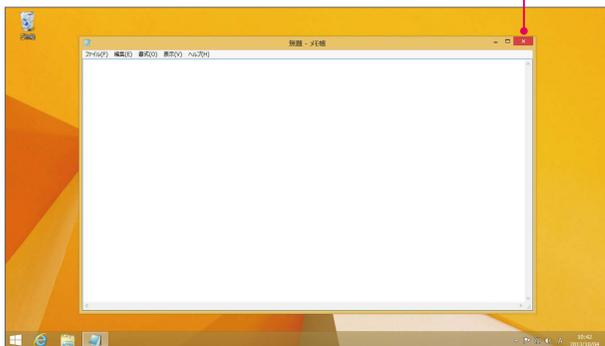
ストアアプリ

Windowsストアで提供されているアプリを「ストアアプリ」と呼びます。Windows 8.1のスタート画面に表示されているものは、すべてストアアプリです。また、「アプリ」画面の左に、アプリごとの分類見出しなしで表示されているのもストアアプリになります。ただし、パソコンによってはメーカーが独自で用意したデスクトップアプリが、スタート画面に表示される場合があります。ストアアプリの詳細についてはP66を参照してください。

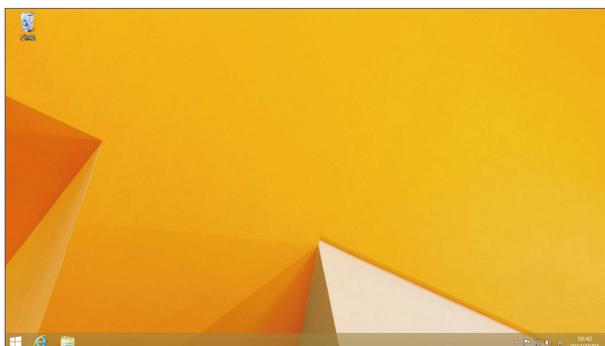
アプリを終了する

1 「閉じる」ボタンをクリック

「閉じる」ボタンをクリックする。



2 アプリが終了する



アプリの終了

終了したアプリは、スタート画面のタイルをクリックすることで再び起動できます。ただし、多くの場合はアプリを終了すると、それまでに行っていた作業状態が削除されます。作業を一時中断する場合は、P63の方法で最小化すれば、ほかの作業をさまたげることなくアプリを見えなくできます。



確認画面

「閉じる」ボタンをクリックした際に、すぐにアプリが終了せずに、確認画面が表示される場合があります。その多くはこれまでの作業状態を保存するかどうかの確認なので、メッセージの内容に従って操作を行ってください。



「メモ帳」アプリで文章を入力したあと、「閉じる」ボタンをクリックすると、ファイルの保存についての確認画面が表示されます。詳しくはP100を参照してください。

プラス 1

アドバイス

アプリの終了時に作業状態を記録する

アプリによっては終了前の作業状態を保存できるものがあります。こうした設定を有効にしておけば、次回にアプリを起動したとき、作業状態を引き継ぐことができます。

「Internet Explorer」では、アプリを終了前に開いていたタブの状態を保存できます。

